

大会名称: 平成20年度 第43回群馬県中学校総合体育大会
第61回 バスケットボール大会

開催場所: ぐんまアリーナ Mコート

試合区分: No. 105 女子 代表決定戦

期 日: 2008(H20)年7月31日 (木)

主審: 星川 良一

開始時間: 12:10

副審: 上田 裕隆

終了時間:

大間々		59		19 -1st- 10 11 -2nd- 13 12 -3rd- 19 17 -4th- 13 -OT1- -OT2- -OT3-		55		館林三							
(桐生・みどり)								(館林)							
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	小野里千秋	15	3	2	2	0	4		竹田 愛	-	-	-	-	-
5	*	岡部 治美	30	6	5	2	0	5	*	大木 優那	23	0	11	1	1
6	*	新井 真実	3	0	1	1	2	6	*	土屋百合奈	0	0	0	0	1
7	*	前原はるか	0	0	0	0	0	7	*	神原みずき	16	0	8	0	2
8	*	小池 春希	11	0	5	1	2	8	*	小山 花菜	9	1	3	0	4
9		前原さやか	0	0	0	0	1	9		阿部 未来	-	-	-	-	-
10		金子 紗也	-	-	-	-	-	10		山野井千春	-	-	-	-	-
11		糸井 彩佳	-	-	-	-	-	11		太田 麻耶	-	-	-	-	-
12		今泉 美咲	-	-	-	-	-	12		井畑 美那	-	-	-	-	-
13		荒木 莉恵	-	-	-	-	-	13		森 遥香	-	-	-	-	-
14		鯉沼 美有	-	-	-	-	-	14	*	山野 夏美	7	1	2	0	0
15		遠藤 美紅	-	-	-	-	-								
16		岩本里緒菜	-	-	-	-	-								
17		高瀬 愛加	-	-	-	-	-								
コーチ 提橋 浩二								コーチ 千輝 敦志							
合計			59	9	13	6	5	合計			55	2	24	1	8

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド、大間々中は、速攻と3pシュートで得点を稼ぐとともにオールコートマンツーマンと2-2-1ゾーンプレスを用いたDFでペースをつかみ、優勢に試合を進める。対する館林三中は、シュートが決まらず、ハーフコート2-1-2のゾーンDFも崩され、苦しい立ち上がりとなった。

第2ピリオド、大間々は1-1-2-1ゾーンプレスDF、館三は2-2-1ゾーンプレスDFをしかける。館三はオフェンスリバウンドを粘り強くするが、大間々の優勢が続く。しかし、残り約3分、館三はT.OをきっかけにDFが積極的になり、大間々を苦しめ、ラストの1分間で連続7得点をあげて一気に追い上げ、前半が終了した。

前半の勢いを生かしたい館三と、ペースを取り戻したい大間々。互いに緊張感のある第3ピリオドで先制点をとったのは館三 神原。DF・OFともに勢いを増した館三は、小山 山野も要所でシュートを決め、4分間で逆転に成功。大間々はT.Oをとって立て直しを図り、新井の得点と岡部の連続得点ですぐに追いつき、42 - 42同点で第3ピリオドを終えた。

第4ピリオド、大間々は 小野里のドライブインから得点のチャンスを作り、オールコート2-1-2プレスDFをしかける。一方、館三はハーフマンツーマンDFに変えて勝負を懸ける。館三 神原 大木のハイポスト・ローポストを使った攻撃がはまり、館三のペースになりそうだったが、大間々は 岡部の3pシュートが要所で3本決まり、残り50秒で大間々が1点リード。館三はT.Oをとって2-1-2ゾーンDFで粘り強く戦おうとするが、残り5秒で大間々 小野里がダメ押しの3pを決める。大間々は、5秒で4点差をどうにかしようとする館三を守り抜いた。大間々はノーシードから見事に春季大会の雪辱を果たして、5年ぶり3回目の優勝を飾った。(文責:金子)